特定非営利活動法人

要約筆記 高知・やまもも No. 232

9月

発行　平成30年8月30日

「たった１文字」の再確認

理事　　小倉雅子

困った。

県外へ帰省する２日前に９月号の広報原稿の当番だと知った。６日間の帰省からこちらに戻ったのが一昨日。さて原稿をと机に向かうけれど何も浮かばない。久しぶりの仕事疲れか帰省疲れか、近づく台風 19 号、続く 20 号の湿った蒸し暑い空気のせいか、いや孫疲れかもしれない。いや、ただの発想力・文章力・語彙力の乏しさによるものだろう。そして我が家は普段の何倍もの荷物であふれ、なんだか落ち着かない。何かを生み出すには環境整備も必要だとつくづく思う・・・・・と御託を並べても締め切りは明日。とにかく今夏の収穫として心に留めておきたい現任研修での全要研、山岡講師の言葉を紹介したい。

『その場で伝わることを第一に、利用者の目的達成のための専門性であること。その漢字１文字を書かなければ、他のことが入る。そう考えて、自分のロールを見直す。見直しをしながら前に進む、それが専門性を維持することになる』

我々の上げた文字はその場で伝わり、情報保障を求める聴覚障害者の思いに応えられただろうか、社会参加を後押しできているだろうか。聴覚障害者への責任ある情報保障を考えたとき、我々も基礎を確認しながら、お互いに切磋琢磨し進歩していかなければならないと思う。

講師の言葉で、専門性を維持すること、つまり現任であり続けることは実は大変なことだと実感した。「たった１文字」もおろそかにしない通訳者魂を見せつけられた気がした。「たった１文字」の大切さを思い出させてもらった。覚えていても機能しなければ意味がない。だから、現任研修や勉強会を自己啓発のきっかけとしたい。いい加減な文字は流せないのだと自己を戒める貴重な機会だから。そこには派遣現場だけでは得られない気付きがある。

目標は遠いが不要な１文字は削除し、的確な１文字が表出できる通訳者になりたい。

やまもも会員
９月現在 62 名
（内 賛助会員４名）

＜要約筆記 高知・やまもも　の できごと＞

平成19年 （2007）	・高知県委託事業　　要約筆記奉仕員養成講座開講 ・派遣数　51 件（含　養成講座講師派遣） ・かたつむり国語教室支援 ・助成：独立行政法人福祉医療機構 ・会長　武市親典　就任

ホームページ　http://yamamomo-kochi.sakura.ne.jp/
☎　090-7572-0855　Fax　088-840-2117　E-Mail　mienpa.4.5-25.mienpa@galaxy.ocn.ne.jp
Twitter　@youyaku_y / Facebook　youyaku.y / Instagram　youyaku.y

****

三原則　　要約筆記「さくら」代表　川 田 栄 子

平成 30 年度要約筆記者現任研修会を受講。音声を受信できない、そのことをサポートする社会福祉サービスとは音声情報を文字で伝える事であり、読んですぐ理解できその場ですぐ伝わるこが重要。聞こえない事をその人のせいにしないことだ。1 回目は基礎を確認する内容で表記による文字情報は読みやすさが求められる。崩さずに書く、文字の大きさの意識、行間、字間の一定、簡潔な文の表現などの要約技術を身につけることが説かれた。その場で通訳を達成するため、知識と技術が欠かせない。現場を考えることも大事だと、そのことは楽しいなら楽しさを、研修ならしっかり研修がわかる文字で伝えることだ、速く正しく読みやすくのバランスを保つことで締めくくられた。

****

第２回・要約筆記者現任研修を終えて　　要約筆記「さくら」　岡本　起代

「鼻から４つ息を吸って、お腹が膨らんでいることを意識して！はい、１、２、３、４」本日の講師、フリーアナウンサー・花房果子氏の歯切れの良い明るい声が会場に響く。いつもとは違った雰囲気の研修会場。『聞き取りやすい会話とことば』をテーマに腹式呼吸の実技、明るい発声、標準語と土佐弁のアクセントの違い、鼻濁音や無声音などについて楽しく学ぶ。日頃、音訳や読み聞かせ、コーラスなどに関わっている身にはどれも大事なポイントばかり！ひとことも聞き漏らすまいとペンを走らせる。初心に返り、発音や言葉遣いの大切さ、奥深さを改めて学んだ有意義な１時間半であった。またとない貴重な機会をいただいたこの企画に心から感謝申し上げたい。テンポよく淀みのない花房氏のご講演は、まさしく『聞き取りやすい会話とことば』そのものであった。

****

大雨と台風の影響で　　講座担当　小笠原文香

７月８、22 日に大雨と台風の影響により講座を休講した。昨年も同じようなことがあったが、どんなに私達の生活が便利に豊かになっても自然には抗えないのだと思い知らされる。通り過ぎてみれば、開講できたのではと思う同時に、事なきを得てホッと胸を撫で下ろす。休講の代替日は、外部講師の日程は変更せず、内部講師でやりくりをしているのですが、大半が有職者で調整がなかなか。受講生の皆さまには終日、土日連日とハードなスケジュールになりご迷惑をおかけしますが、是非とも受講くださいますようお願いします。本格的な台風シーズンを迎え、今後の講座が予定通りに開講できるようにと祈るばかりです。

****

広報あれこれ　　広報担当　松村滋子

毎月の広報は妙齢の５名の女性が担当している。原稿は会員のみならず広く他サークルなどの方々のご協力で発行できているが、１面は各理事が交代で事業について報告。２面は時勢の話題や事業への感想など。３面は「人・ヒト・ひと」欄でその時々の会員を紹介。また、会員のお勧めの図書。４面は活動報告・予定を主とし、最後に編集後記として「まっこと」を掲載。発送作業は木曜会参加者の協力を得て皆さんのお手元に届く。広報は会員のつながりの要の役目もあると担当は認識し、読んでもらえる内容を悩ましくも毎月目指している。原稿依頼すると、時にゲリラ豪雨にあったかのような反応を示す人もいるが、なんだかんだと言いながらも原稿は期日内に届く。まことにありがたい。感謝。今後ともよろしくお願いします。

＜みな様へ　お願い＞

①30 年度会費の入金がまだの方は振込みをお願いします。

②住所、緊急連絡先等に変更のあった方は
管理・小倉までご連絡をお願いします。

TEL　088-856-8457　・　FAX　088-845-2585
Mail　ogura_annko_0207@yahoo.co.jp

人・ヒト・ひと

横顔21
弘田康子　さん

★"・・らしい"ではなく、几帳面に見えます！って。かつて、事務局に就任し運営の整理を一手に引き受け、窓口の一本化を成したことは、その後を考えると功績、大。なかなか真似できることではありません。女史という風格があります。女史はネコ好きな一面もあります。私と同じ。

■入会年は？／H.１５年。H.１４年にノートパソコンを買ったと友人S(元会員)に言うと「要約筆記サークルにPCチームができたのでぜひ入会して」と言われた。聞こえの不自由な人のための文字通訳との説明をうける。当時は34時間の夜間講座が市の南庁舎であり受講。しかし難しく思い入会せず。ところが講義もされたM(元会員)さんに度々会い熱心勧められ１年後に入会

■趣味は？／落語を聞くこと(カセットが壊れここしばらく聞いていない)
読書(絵本を含む。書店には申し訳ないが結構立ち読みする。)

■嫌いなことは？／うそ。言い訳。

★次回もお楽しみに

■習慣／月、火、木、金と娘宅の４匹顔見に行きトイレの掃除とブラッシング。
その後ゆっくりとコーヒーを飲み帰宅。

■理想のタイプ／おおらかな人

■いけないと思いつつやってしまうことは？　／夜更かし。

■自分の性格は？／几帳面に見えるらしいがちっとも・・。気楽に行きたいと思っているのでありのままが好き。だが、ルーズは嫌いなので結構頑固かも。

読書

『敬語』　　**菊池康人　著　講談社学術文庫**

守屋優希

タイトルのとおり敬語に関する書籍です。敬語には尊敬語、謙譲語、丁寧語があることはなんとなく知っていましたが、謙譲語が二つに大別されることや美化語なるものがあることは初めて知りました。ひょっとしたら学校で習ったのかもしれませんが、記憶の片隅にもありませんでした。「伺う」と「参る」の違いや「ご説明いたします」は二重敬語なのか等々「そうだったのか！」と驚くことがたくさん記載してあり勉強になります。理論的、体系的に敬語を知るにはもってこいの一冊だと思いました。読んでも全然身になっていないのが唯一悔やまれるところです。

掲示板

敬称略

◆＜高知市障害者福祉センターの駐車場＞

すでにご存知と思いますが、
同敷地内の建物の解体工事のため、
期間中は隣接する道を隔てた東側の
高知市の建物の駐車場が代替えと
なっております。よろしく。
予定　９月18日(火)まで。

◆＜広報担当からお願い＞

皆さまの原稿を募集しています。
内容は要約筆記に関することなら嬉しい意見から辛口の意見まで、何でも結構です。どうぞお寄せください。　　担当

Amazon でのお買い物は　⇒　やまももものホームページ Amazon アソシエイトから。※購入金額の一部が広告宣伝費として Amazon からやまももに支払われ、活動費となります。※購入金額に宣伝費が追加されることはありません。

30年９月　活動予定			
日・曜	会　合　名	時　間	場　所
1日（土）	要約筆記者養成講座　第16回	9：30～12：30	障害者福祉センター
1日（土）	理事例会	13：30～15：30	障害者福祉センター
2日（日）	要約筆記者養成講座　第17回	9：30～12：30	障害者福祉センター
2日（日）	開館記念講演3	14：00～15：30	オーテピア
8日（土）	土曜会	10：00～12：00	障害者福祉センター
8日（土）	中途失聴者・難聴者の会	13：30～15：30	障害者福祉センター
9日（日）	要約筆記者養成講座　第18回	9：30～12：30	障害者福祉センター
15日（土）	開館記念講演4	14：00～15：30	オーテピア
16日（日）	要約筆記者養成講座　第19回	9：30～12：30	障害者福祉センター
20日（木）	木曜会	10：00～12：00	障害者福祉センター
22日（土）	要約筆記者養成講座　第20回	9：30～12：30	障害者福祉センター
24日（月）	開館記念講演5	14：00～15：30	オーテピア
27日（木）	木曜会	10：00～12：00	障害者福祉センター
30日（日）	要約筆記者養成講座　第21回	9：30～12：30	障害者福祉センター
30年８月　活動追加			
日・曜	会　合　名	時　間	場　所
4日（土）	ＰＣ勉強会	13：30～16：30	塩見

九月歳時記　（長月　ながつき）

日増しに夜が長くなるので「夜長月」。それが「長月」になったといわれています。

１日　二百十日　・８日　白露　・９日　重陽の節句

17日　敬老の日　・20日　彼岸の入り　・23日　秋分の日

24日　十五夜　・26日　彼岸の明け

《まっこと》■十六、七年前、一か月ぐらいオハイオ州で生活をしたことがある。アメリカの日常の生活が経験でき面白かった。ある日「芳原の家を見せましょうか」とタブレットを覗くと何と芳原の我が家が写っていて驚いた。そのときナビという言葉を初めて知った。先日友人の不動産屋さんの事務所で雑談をしていたら、横で「土佐市ですか。番地は？あっ、ありました。ここですね」とナビを見ながら商談を進めていた。今はこの風景は珍しくなくなったのであろう。すごい世の中になったものだ。（美）■高新の声のひろばで「ビキニ裁判を傍聴して」を見て「平和なる岬のごとく白波の寄せいるも憎し核実験の島」と詠んだ六十年も前の愚作をいきなり思い出した。テレビで観たビキニ環礁の静かな風景に違和感を覚えた。だが、数百隻の漁船が被爆していたとは知らなかった。嘘に塗り込められた報告資料で苦しむ人たち、地道に調査し真実を明らかにした人たち、真実を明かせなかった人たち。ただ、眠れない私。（善）■酷暑。豪雨災害。その上、逆走台風と不快なことが多い。けれど八月に入り畦道に熟れた稲の香りがする。昔の稲刈りは十月末～十一月だった。曾祖母が新嘗祭にと新米を手にした笑みを思い出すが、今は皇室の行事にのみか。また恐る恐る落ち穂をついばんでいた小鳥が堂々と稲穂を食べ、鳩は傍らを歩いても飛ぶ素振りすらない。やはり何かがおかしい。（滋）■九月。次年度の予算を組む月になった。現任研修も終了。講座も半ばにさしかかる。まこと月日の流れる速さ。送る月日に関守なし、盛年重ねて来らず。光陰矢のごとし。歳月人を待たず。（三）